

## 普及現地情報



発信年月日：令和5年(2023年)2月16日  
所属名：湖東農産普及課  
番号：F22015  
部門分類：570 青少年  
発信者名：中島 鋒山

### 湖東青年農業者プロジェクト・意見発表大会が開催されました

2月8日、湖東地域青年農業者クラブ「ファーマーズクラブことのわ（以下「ことのわ）」の令和4年度プロジェクト・意見発表大会の開催を支援しました。3名がプロジェクトの成果を発表され、2名が意見発表をされました。

今回発表されたプロジェクトは、「大豆平均反収 300kg を目指して～施肥の有効性の検討～」、「大豆の狭条無中耕・無培土栽培技術の検討」、「湖東青年農業者クラブ‘ことのわ’でのつながりが経営に与えるメリット」の3つです。前者2課題は、大豆の施肥設計や、省力化を狙いとした作業体系の比較調査について取り組まれました。後者は「ことのわ」の入会によって会員同士のつながりができ、新規ビジネスの獲得につながった経験や、クラブの活性化について熱い想いを発表されました。

意見発表では、愛荘町の伝統野菜である「秦荘のやまいも」を生産する農業者が、「故郷の宝をこれからも」というテーマで、産地の維持発展に向けた課題や想いを発表されました。また、魚のゆりかご水田に取り組む農業者が、「私と農業のつながり」というテーマで、人とのつながりや琵琶湖を取り巻く自然環境とのつながりを大切に農業に取り組みたいという想いを発表されました。

審査の結果、彦根市の西田氏が取り組まれたプロジェクト「大豆の狭条無中耕・無培土栽培技術の検討」及び、彦根市の安居氏の意見発表「私と農業のつながり」が最優秀賞を受賞され、県大会へ進むことになりました。

当課は、今後も「ことのわ」の活動を支援していきます。



大会の様子



表彰式の様子